

## 大学会館第二期工事を着工します。

札幌大学大学会館（リンデンホール）の改築及び増築工事を4月上旬から着工します。解放感を演出するグリーンテラスや中庭も設け、学生の憩いの場としての利用を目的に、ゆとりの空間を目指して建設します。12月1日のオープンを予定しています。

この工事により現在のリンデンホールの2階部分の改修と、新たに増築する部分は、現在のリンデンホールに隣接して建設し、建坪は1800平方メートルの広大な建物になります。これにより現在の第一食堂で営業を行っていた札幌大学生生活協同組合フードコンビニ（購買部）、書籍部、不動産部、旅行部が増築部分に移転します。また、新たに、**多目的のギャラリー**を設置し、各種の展示を恒常的に行っていきます。

新たに完成する学生会館については、これまでどおり、一般の方々にも開放します。新設するギャラリーについても一般の方の展示にも開放する予定です。

新規に建設する部分については、**エコロジー対策**として、

- ①ソーラーパネルを装着し、自家発電により電力の消費を節約します
- ②南側のカーテンウォールを二重にし、この空間を冷暖房することで外部からの熱負荷を抑えるシステム（ソーラーチムニー）を導入します
- ③外気を1階床下のクールチューブへ通すことにより、夏は冷却、冬は暖められた空気を利用した空調システム（クールチューブ）を導入します
- ④天井にトップライト（ガラスの窓）を設置し、暑いときには開放することにより自然通風を可能とします。日中は明るく快適な空間を演出し、省エネルギー（照明負荷の削減）を図ります

このような省エネルギーと環境に配慮した設備計画で建築されます。

着工にあたり、電波障害、日照問題、地盤検査を実施し、影響が無いことを確認しました。近隣住民の方々には、今年の1月、3月に建設のための説明会を開いています。



建物左：現在の大学会館、建物右：増設部分

